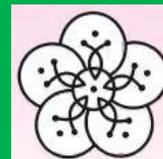


平成26年度 岩手県立盛岡第二高等学校 入学式



天も祝福 好天に恵まれ

4月8日（火）本校の入学式がおこなわれました。

当日は、澄み切った青空に4月の明るい日差しが降り注ぐ穏やかな日和の中、新入生は幾分緊張した表情を浮かべつつも、期待に胸を膨らませながら、晴れやかに校門をくぐり、二高生としての記念すべき第一歩を踏み出しました

係として警備にあたったハンドボール部が新入生に対し、祝福とこれからの高校生活へのエールの気持ちを込め、爽やかな挨拶を送っていました。



〔二高正面〕

伝統に恥じぬよう、誇りを胸に

生徒昇降口で自分のクラスを確認した新入生は本校最上階である5階のHRで担任の点呼を受け、その後の入学式の説明を、一言も聞き漏らさないよう真剣に聞き入っていました。

入学式は、本校PTA会長や同窓会会長をはじめ多数の来賓にご臨席頂き、職員・保護者の見守る中吹奏楽部の演奏による新入生の入場で始まりました。

A組より担任の先導で、頬を強ばらせながらも胸を張り、堂々と歩を進める新入生204名の顔は、これから目指すそれぞれの無限の未来に、光輝いているかのようでした。



〔新入生入場〕

校長による入学許可、式辞に続き、PTA会長・同窓会会長より新入生に対し祝辞を頂いた後、新入生代表宣誓がおこなわれました。新入生の代表が『117年にわたり、伝統と歴史を築き上げてきた先輩方に恥じることはないよう、白梅精神である「進取」「清楚」「強健」を胸に、三年後卒業するとき、誇りに思えるような充実した高校生活をおくっていくことを、ここに誓います。』と、力強く爽やかに宣誓しました。

最後に『校歌』と『雪間に匂う』が音楽部により紹介され、二高らしい歌に包まれた“梅花の気品”漂う入学式は滞りなく、幕を閉じました。



〔代表宣誓 壇上には式花“桜”〕